

令和5年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
4 学年 (普通科・商業科)	芸術科 音楽 I (選択)	菅原
使用教科書	出版社：教育芸術社 教科書名：高校生の音楽 1	
指導のねらい 単位数 2 単位	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の表現活動を通し自己を表現することを身につける。 ・幅広い音楽に触れ合い、様々な音楽に興味・関心を持つ。 ・簡単な楽譜の読み書きなど、基本的な音楽の技能を身につける。 ・身近な音楽に触れ、生活の中での音楽との関わり方を身につける。 	
使用教材・授業形態	教科書使用、実技・発表・鑑賞	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 2 6 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典 楽譜の基礎 ・集団でのキーボード演奏 ・鑑賞 様々なジャンルの音楽 ・歌唱 	
2 学期 3 0 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱 ・鑑賞、様々なジャンルの音楽 ・個人でのキーボード演奏 	
3 学期 2 2 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱 ・鑑賞 ミュージカル ・送別会に向けて 	
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボードなどの器楽演奏を通して音楽の楽しさを味わう。 ・歌唱を通して、自己表現にチャレンジする。 ・合奏や合唱を通して、グループ活動の素晴らしさを体験する。 ・鑑賞を通じて、様々な音楽への理解を深め、生活の中の音楽との関わりを考察する。 ・楽譜の読み方など音楽の基本的な知識を学ぶ。 	
評価の観点と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の出席状況と授業に取り組む姿勢を重視します。 ・協力しながら、最後まで演奏に取り組む姿勢を評価します。 ・身近な音楽に興味や関心を持つ態度を評価します。 	

令和5年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
4 学年 (普通科・商業科)	芸術科 美術 I (選択)	藤井
使用教科書	出版社：日本文教出版 教科書名：高校生の美術 1	
指導のねらい 単位数 2 単位	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の授業を通して、ものを作り出す喜びを感じ、基本的な表現力を身につける。 ・制作した作品の鑑賞を通して、自己理解を促し、他者理解を深める。 ・自分の作品に愛着を持ち、物を大切にしようとする態度を養う。 ・基本的な道具・用具の使い方を身につける。 	
使用教材・授業形態	実技・発表・鑑賞	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 2 6 時間	<ul style="list-style-type: none"> ① 足立高等学校定時制の校章をデザインしよう (ロゴデザイン) ② 好きな有名人をリアルに描こう (点描) 	
2 学期 3 0 時間	<ul style="list-style-type: none"> ③ 卒業制作 (絵画・デザイン) 	
3 学期 2 2 時間	<ul style="list-style-type: none"> ④ 今の自分 (自画像) 	
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 足立高等学校定時制の校章をデザインしよう (ロゴデザイン) 自分たちが在籍している学校の良さを考え、その良さを生かしたロゴをデザインし、アクリルガッシュで彩色する。 ② 好きな有名人をリアルに描こう (点描) 白黒コピーした有名人の顔を参考に、ボールペンによる点描を行う。 ③ 卒業制作 (絵画・デザイン) 既習事項を踏まえ、各自の興味関心に基づいたテーマを設定し作品を制作する。 ④ 今の自分 (自画像) 卒業を控えた自分自身と向き合い、鏡を見つめ自画像を制作する。 	
評価の観点と方法	<ul style="list-style-type: none"> ① 作品を最後まで丁寧に仕上げようとしているか。 ② 自分なりに工夫をして作品を制作しているか。 ③ 授業に関心を持って取り組んでいるか。 ④ 授業に遅刻せず、出席しているか。 ⑤ 作品、ファイル等の提出をしているか。 	

令和5年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
4 学年 (普通科・商業科)	芸術科 書道 I (選択)	入山
使用教科書	出版社：東京書籍 教科書名：書道 I	
指導のねらい 単位数 2 単位	<ul style="list-style-type: none">・小、中学校における書写の学習を基礎として、古典作品の鑑賞や臨書を通して書の表現能力を伸ばす。・日常生活の中で書に触れ、文字への関心を深める。	
使用教材・授業形態	教科書を使用した講義と実技	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 2 6 時間	<ul style="list-style-type: none">・漢字の書の学習 (楷書・行書)・漢字の書の制作	
2 学期 3 0 時間	<ul style="list-style-type: none">・漢字の書の学習 (草書・隸書・篆書)・漢字仮名交じりの書の制作・仮名の書の学習	
3 学期 2 2 時間	<ul style="list-style-type: none">・漢字の書の制作	
学習内容	<ul style="list-style-type: none">・基本的な筆使いを学ぶ・古典作品の鑑賞と臨書を通して、技法や表現力を学ぶ・創作の手順を学び、作品制作を完成させる	
評価の観点と方法	作品に意欲的取り組んだかを加味し、出席状況・提出物による評価をする	